

令和 6 年度 第 3 回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日 時: 令和 6 年 12 月 22 日(日) 16 時 00 分～16 時 22 分

会 場: 瑞浪市総合文化センター 3 階講堂

出席者(敬称略): 渋谷典子、古澤辰広、成瀬良美、浅沼克郎、野田順子、大島紀美夫、
中山千鶴、山下千尋、大竹悦子、安藤士月、唐蓉嵐、須藤茂美、
西尾正浩、安藤友美、和田さき子、宇井壮五(欠席: 鈴木実千江)

〈事務局〉 みずなみ未来部長 正木英二、市民協働課長 奥谷ひとみ
市民協働課人権啓発係 永田智恵、河合清志

議 事: (1) 令和 6 年度瑞浪市男女共同参画市民講演会の振り返りについて
(2) 令和 7 年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について
(3) 今後のスケジュールについて
(4) その他

内容

(進行: 事務局)

1. みずなみ未来部長あいさつ

(部長) 省略

2. 瑞浪市男女共同参画社会推進会議 座長あいさつ

(座長) 皆さん、お疲れ様でした。熱気あふれる講演会だったと実感しております。推進会議からのお礼の挨拶では、実りあるコメントをいただき、ありがとうございました。

講師の小山内さんは、市長さんが講演会を最後まで傾聴して下さったことに驚いていらっしゃいました。また、パネリストの日高さんは、この推進会議のメンバー構成について男性も多いことに驚かれ、地域から推薦された方が代表で参加されていることをお伝えしましたところ、「特色がありますね」とおっしゃっていました。それから、取材に来て下さった方が、この分野にとっても関心を持って下さったようなので、イベントがある際にお声がけできるといいですね。このように、様々な方を巻き込んで進めていけると良いと思います。皆さんもたくさんの方にお声がけをして下さったと思います。本当にお疲れ様でした。来年度の講演会につきましても、どうぞよろしくお願いします。

3. 議事

(1) 令和 6 年度瑞浪市男女共同参画市民講演会の振り返りについて

(2) 令和 7 年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について

(座長) 議事 1、2 について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

(座長) 本日の講演会は、どうでしたか。

(参加者) パネリストの方々も意識が高い方ばかりで、支援する側の立場はよく分かりました。逆の立場で考えると、もし災害が起きて、地域で組織をつくり助け合うという時に、組織をつくるまでにどういった手順を踏んだら良いかということが不安になりました。パネリストの中村さんが言われたとおり、何かあったら、社会福祉協議会へ相談すればよいということが分かりよかったです。地域柄があり、自治会長がリーダーシップをとってやる、もしくは自治会長がいない場合もあるし、瑞浪市は婦人会という組織もないので、ジェンダー、女性の力を借りてということになると、支援を受ける側の組織をつくるということが地域にとっての一番の課題だと強く感じました。

(参加者)とにかく命は大事だということです。それから、いくつになっても支援していただけるということに安心しました。普段から顔の見える生活を心掛け、常に皆さんと顔の見える関係を作りたいと思いました。引っ込み思案ではなく、何かの時には、なりふり構わず、皆さんと協力して前を向いていたいと思います。私の地域は限界集落なので、災害があったら救助がきません。そこの中でいかにして自分たちの身を守り、明るく生活できる方法を、区長会長と話し合ってみたいと思いました。本当に勉強になりました。ありがとうございました。

(座長)限界集落ということですが、連絡手段はいろいろありますので、つなぐということが重要だと思います。私は街中に住んでいて人も多いですし、15 階に居住しています。何かあったときに地域ごとに困難な事情というのは変わってくると思います。

(参加者)良い講演会だったと思います。特に心に残ったのは、我慢ベースの避難になってしまうというお話で、誰もが苦痛や悩みを打ち明けられない状態が、災害関連死等を生んでしまうことがあるということです。私自身も被災したとしたら、私より我慢している人がいるだろうから、これぐらいで助けを求めるなんて恥ずかしいなという心理的なバイアスが掛かり、打ち明けられないということは容易に想像できたので、そこをいかに取り除いてあげるかという支援の在り方を考えなくてはならないと思いました。小山内さんが足湯を通して、心理的な抵抗を取り除いていたと思いますが、そういったことが必要だと感じました。これは自治体に限ったことではなくて、男女共同参画というところに翻って言うと、「マイノリティだから、要望を言うのはおこがましい」といったような打ち明けられない悩みや苦痛が相当眠っているのではないかと思います。これをどうやって表面に出してあげるかということ、私たちは考えなければならないんだなと感じました。

講演会の流れについては、パネルディスカッションと広報している以上、パネルディスカッションをしてほしかったです。

反省点としては、本日の話を聞いて、一步踏み出せる人がいるような気がしたので、例えば、防災会の女性部会の入会案内を配っておく等、講演会をどうやって日常に落とし込んでいくのかという導線を、主催者側で確保しておくべきだったのではないかなということを感じました。

(座長)打合せをしている間に、ご自身から話したいことがこれだけボリュームがあるというようなお話もあり、ディスカッションの時間が取れなくなっていました。参加者からも、「それぞれ一人ずつ講師になれますね」と言われている方がいらっしゃったぐらい、ボリュームを持った方がパネリストとして参加してくださったのだなと思います。パネルディスカッションにならなかったのは反省点かもしれませんが、次回にぜひ活かしたいと思います。ありがとうございました。

では、来年度の講演会について、何かご質問ありますか。

(事務局)今回パネリストとして参加してくださった日高さんにおかれましては、ご希望があれば、講演会を引き受けてくださるとのことですので、説明に付け加えさせていただきます。

(座長)日高さんは、とってもフットワークの軽い方で、私たちも、名古屋市で男女共同参画推進センターを運営していたときにお招きしております。その時は、陸前高田市から2人ゲストをお招きして、基調講演と3人でパネルディスカッションをしていただいた経緯があります。瑞浪市にご縁があって、中京学院大学にいらっしゃいます。ぜひお声がけしていただければと思います。

(座長)先ほど事務局から説明がありましており、みなさんのご意見や次年度の講演会に向けてのアンケートを踏まえ、事務局と相談しながら、講演内容及び講師候補者を絞りしたいと思います。

質問がなければ、議事1、2は承認されたこととしますがよろしいでしょうか。

<間>

(座長)ご質問がないようですので、議事1、2は承認されました。

(3)今後のスケジュールについて

■第4回推進会議

日時:令和7年2月28日(金) 13:30～

会場:瑞浪市役所 西分庁舎 1 階会議室

内容:令和6年度の活動報告、令和7年度の活動計画

講演会内容・開催日(予定)の決定

(座長)議事3について、事務局から説明願います。

(事務局)(レジュメに沿って説明)

(座長)何かご質問はありますか。

<間>

(座長)他にご質問がないようですので、議事3は承認されました。

これで議事が終了しましたので、事務局に進行をお返しします。ありがとうございました。

(事務局)スムーズな進行をありがとうございました。

(4)その他

(事務局)危機管理課からのお知らせです。瑞浪市制70周年記念事業として、3月1日に防災講演会が開催されますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。

それでは、これをもちまして、令和6年度第3回瑞浪市男女共同参画社会推進会議を閉会します。

来年度の講演会に関するアンケートは、後日、市民協働課にご提出いただいてもかまいません。長時間にわたり、お疲れ様でした。本日はありがとうございました。

《閉会》